

2017年5月8日

## 「OM-D E-M1 Mark II」「OM-D E-M5 Mark II」および「PEN-F」で Profoto Air TTL<sup>※1</sup> 搭載フラッシュの TTL、HSS<sup>※2</sup> に対応する 最新ファームウェアを公開

オリンパス株式会社(社長: 笹 宏行)は、ミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS OM-D E-M1 Mark II」用ファームウェア Ver.1.2、「OLYMPUS OM-D E-M5 Mark II」用ファームウェア Ver.3.0 ならびに「OLYMPUS PEN-F」用ファームウェア Ver.2.0 ほかを2017年5月8日から公開します。今回のアップデートは、Profoto社<sup>※3</sup>製の新しい「Profoto Air Remote TTL-O」<sup>※1</sup>との連動を可能にし、これらのカメラで Profoto 社製フラッシュをシームレスに統合できるようになります。また、フラッグシップ機「E-M1 Mark II」に搭載されている「マイセットバックアップ」などの最新機能が「E-M5 Mark II」、「PEN-F」でも使用可能になります。



「OM-D E-M1 Mark II」  
+「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」  
(写真はカメラボディとレンズの装着例)



「OM-D E-M5 Mark II」  
+「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO」  
(写真はカメラボディとレンズの装着例)



「PEN-F」  
+「M.ZUIKO DIGITAL ED 12mm F2.0」  
(写真はカメラボディとレンズの装着例)

### ＜本件に関するお問合せ先＞

- 報道関係の方:【雑誌・業界紙/誌・Web 媒体の方(経済関連の雑誌・Web 媒体を除く)】  
 オリンパス株式会社 広報・IR 部 広報2グループ 鳥居  
 TEL 03-5738-3463(ダイヤルイン) FAX 03-5738-3794  
 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-50-1 笹塚 NAビル
- 新聞/通信社、経済関連の雑誌/Web 媒体の方】  
 オリンパス株式会社 広報・IR 部 広報1グループ 堀本  
 TEL 03-3340-2134(ダイヤルイン) FAX 03-6901-9680
- 一般の方: オリンパスカスタマーサポートセンター  
 TEL 0570-073-000(ナビダイヤル)
- ホームページ: オリンパス イメージングサイト <http://olympus-imaging.jp/>

※1 該当のProfoto Air TTLおよび「Profoto Air Remote TTL-O」についてはProfoto社にお尋ねください  
 ※2 HSS=ハイスピードシンクロシステム  
 ※3 Profoto社(プロフォト株式会社)は、世界で映像を創造する方々へ向けてライトシェイピングツールを提供するリーディングカンパニー

「E-M1 Mark II」はプロのハードな使用にも応える最新のフラッグシップ機、「E-M5 Mark II」はコンパクトなボディに、5軸手ぶれ補正機能を備えた高性能、コンパクトなミラーレス一眼。また「PEN-F」は、モノクロ／カラープロファイルコントロール機能に代表される“作品の創造”に最適な「PEN」シリーズの高性能モデルです。今回の「E-M1 Mark II」ファームウェアVer.1.2、「E-M5 Mark II」ファームウェアVer.3.0ならびに「PEN-F」ファームウェアVer.2.0へアップデートすることで、「Profoto Air Remote TTL-O」に対応し、これらの機種でTTLとHSS機能が使えるようになります。さらに「E-M1 Mark II」に搭載されている「マイセットバックアップ」のような最新機能も「E-M5 Mark II」、「PEN-F」で使用可能になります。このように弊社では最新ファームをリリースすることで各製品の機能、性能向上を図り、永くお使いいただけるよう努めてまいります。



「Profoto Air Remote TTL-O」

## ● ファームウェアアップグレードで追加される機能

### 1. Profoto社「Profoto Air Remote TTL-O」との連動機能を追加

(対応「E-M1 Mark II」「E-M5 Mark II」「PEN-F」(ファームウェアバージョン名は略。以下同))

「Profoto Air Remote TTL-O」は上記の機種と Profoto Air TTL 搭載のフラッシュをワイヤレスで統合します。カメラのホットシュー部分に装着することで、各機能の操作が手元で迅速に行えます。今回のファームアップにより、「E-M1 Mark II」、「E-M5 Mark II」、「PEN-F」いずれの機種でも「Profoto Air Remote TTL-O」との連動が行えるようになります。使用可能な機能の詳細は Profoto 社の該当資料をご参照ください。

<Profoto社URL>

<http://profoto.com/ja/home>

### 2. カメラ設定をパソコンに保存できる「マイセットバックアップ」

(対応「E-M5 Mark II」「PEN-F」)

カスタマイズした設定をパソコンに保存し、必要に応じてカメラに書き戻すことが可能な「マイセットバックアップ」機能が加わります。複数台のカメラを使う場合に同一設定にする、あるいはファームアップを行う場合の細かな設定保持にも活用できます。

### 3. 「ハイライト&シャドウコントロール」に中間調の調整機能を追加

(対応「E-M5 Mark II」)

被写体の明るい部分と暗い部分の調整が個別にできる「ハイライト&シャドウコントロール」に、中間部の調整機能を追加します。より微妙なコントロールが行え、露出補正では調整しきれない被写体のディテールをより適切に表現することができます。

### 4. ピントを合わせた位置でのスポット測光が行える「AF ターゲット連動スポット測光」

(対応「E-M5 Mark II」)

AFターゲットの位置と、スポット測光エリアの範囲が連動する「AFターゲット連動スポット測光」が加わることで、ピントを合わせた位置でのスポット測光が可能になります。

## 5. サンプル画像を見ながらタッチ操作で選べるアートフィルター

(対応「PEN-F」)

画面下にアートフィルターの効果を示すサンプル画像が表示され、それぞれのアートフィルターの効果イメージを確認できます。希望のアートフィルターのサンプル画面をタッチ操作することでも選択できるため、迅速な操作が行えます。

## 6. 感度を上げ始めるシャッター速度の設定が可能になった「ISO AUTO」

(対応「PEN-F」)

「ISO AUTO」使用時に ISO 感度を自動で上げ始める「シャッター低速限界」のユーザー設定が可能になりました。上げ始めるシャッター速度を遅くすれば、ISO 感度が低い状態で撮影が行えます。

## 7. 背面液晶モニターの AF ターゲットパッドの機能が向上

(対応「PEN-F」)

ファインダーを覗きながら AF ポイントを背面液晶モニターのタッチ操作で自由に動かせる AF ターゲットパッド。ファームアップにより鼻などが背面液晶モニターに触れていても、パッド操作が行えるようになりました。

## 8. ハイレゾショット、深度合成モード、社外メーカー製フラッシュの対応

(対応「E-M1 Mark II」)

50M ハイレゾショット、深度合成モードでの撮影で、オリンパス製のエレクトロニックフラッシュだけでなく、社外メーカー製フラッシュも使用可能になります。

## 9. ファインダー撮影時の背面液晶への自動再生切り替え

(対応「E-M1 Mark II」)

ファインダーで撮影中、レックレビュー時にファインダーから目を離すと、背面液晶に自動で切り替え、再生されるようになります。(「E-M1」と同様の仕様)

## 10. 電源オフ時の AF HOME 設定保持

(対応「E-M1 Mark II」)

従来、AF HOME を呼び出した後で電源オフにすると AF HOME 前のセッティングになりますが、ファームアップにより一旦電源オフにした後でも AF HOME を呼び出せ、状態を保持するようになります。(「E-M1」と同様の仕様)

## その他の変更点

- 撮影時のファインダーの色再現性を改善しています。

(対応「E-M1 Mark II」)

- 電池残量表示の安定性を向上させています。

(対応「E-M1 Mark II」)

## ● レンズ側ファームウェアアップグレードでの改善点

1. 「M. ZUIKO DIGITAL ED 12-100mmF4.0 IS PRO」ファームウェア Ver.1.1、「M. ZUIKO DIGITAL ED 300mmF4.0 IS PRO」ファームウェア Ver.1.2との組み合わせで、手ぶれ補正稼働時の静音連写性能を改善しています。

(対応「E-M1 Mark II」)

2. 「M. ZUIKO DIGITAL ED 12-100mmF4.0 IS PRO」ファームウェア Ver.1.1 との組み合わせで、5 軸シンクロ手ぶれ補正の性能を改善しています。

(対応「E-M5 Mark II」および「E-M1」)

● ファームウェアアップグレードで新たに追加される機能、改善点（新対応は○印）

	「E-M1 Mark II」 ファームウェア Ver. 1.2	「E-M5 Mark II」 ファームウェア Ver. 3.0	「PEN-F」 ファームウェア Ver. 2.0
「Profoto」社「Profoto Air Remote TTL-O」 との連動機能を追加	○	○	○
カメラ設定をパソコンに保存できる 「マイセットバックアップ」	搭載済み	○	○
「ハイライト&シャドーコントロール」に 中間調の調整機能を追加	搭載済み	○	搭載済み
ピントを合わせた位置でのスポット測光が 行える「AF ターゲット連動スポット測光」	搭載済み	○	搭載済み
サンプル画像を見ながらタッチ操作で 選べるアートフィルター	—	—	○
感度を上げ始めるシャッター速度の設定が 可能になった「ISO AUTO」	搭載済み	—	○
背面液晶モニターの AF ターゲットパッドの機能が向上	搭載済み	—	○
ハイレゾショット、深度合成モードでの 他社製フラッシュが使用可能	○	搭載済み	搭載済み
ファインダー使用のレックレビュー時、 背面液晶の自動再生	○	搭載済み	搭載済み
電源オフ時の AF HOME 設定保持	○	搭載済み	搭載済み
ファインダーの色再現性改善	○	—	—
電池残量表示の安定性向上	○	—	—

● レンズ側ファームウェアアップグレードでの改善点（新対応は○印）

	「E-M1 Mark II」 Ver. 1.2	「E-M5 Mark II」 Ver. 3.0	「E-M1」 Ver. 4.3
「M. ZUIKO DIGITAL ED 12-100mmF4.0 IS PRO」 ファームウェア Ver.1.1 「M. ZUIKO DIGITAL ED 300mmF4.0 IS PRO」 ファームウェア Ver.1.2 との組み合わせで、 手ぶれ補正稼動時の静音連写性能を改善	○	—	—
「M. ZUIKO DIGITAL ED 12-100mmF4.0 IS PRO」 ファームウェア Ver.1.1 との組み合わせで、 5軸シンクロ手ぶれ補正の性能を改善	搭載済み	○	○

仕様については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。